

Nazuru Note

このコーナーでは、多彩なテーマで名鶴先生に熱く語って頂きます。

まずは、1Pで紹介した公演「Glow」の話題から、先生演出の新作「JAZZ メドレー」について伺いました。



— 観客の感想はかなり好評でしたが演出されていかがでしたか？

今回は踊り手になっていたから、本番の舞台の出来は分からないけど…

以前公演で使った大好きな曲を2曲入れ、バラエティに富んだ6曲に絞ったけど、作品としては70点くらいかな。内容はギュッと詰めて濃縮したので飽きがなくて良かったんじゃないかな、と思っています。

— 2曲振付をされていますが、どんな想いで作られましたか？

どちらも以前の作品と全然違うものにしようと頑張ったわ。

M3「One Night Only」は、スタジオを始めてから1回目の公演「Nous 1st」で私と男性2人との愛のかけ引きというナンバーだったの(笑)。

M6「The Winner」は初めて芸文大ホールで公演を行った時にフィナーレで使った曲。最近劇団四季の「MAMMA MIA!」を観て、久しぶりにまたこの曲で作りたいと思ったのヨォ!

— 最後にお一人で登場されるシーンはどんな事を考えていましたか？

1・2・3・4…!!

必死にカウントを数えていたわ(笑)。

でも真ん中に立った時は気持ちよかった。スターになった気分ヨ!もう少し照明の強さがあるとよかったわね。



初めて知った事実がたくさんありましたネ!!」

名鶴先生、「Glow」お疲れ様でした。

さて、インタビューは、まだまだ続きます。次は今回のテーマ「初心を忘れず」にちなんだ質問です。

— 先生が33年前にスタジオを開くと決意された時の気持ちを教えてください。

JAZZ ダンスブームだったっていうのもあるけど…時間を決めて子供2人の育児をしながら出来る仕事をとってダンスを教える事にしたの。

— 最初はどのくらい指導されていたのですか？

週3日。12クラス。今みたいにレンタルスタジオはないから、ボーリング場の一角を借りて始めたの。あつという間に生徒が集まって、初心者ばかりで90分のジャズクラスを1日4レッスン。レッスンの合間には子どもの送り迎えで休む暇もなかった。それでも、どんどん生徒が増えて週3日どころじゃなくなって…。子どもとの時間をつくる為に始めたのに結局は、前より忙しくなったの。絶対3年で辞めようと思っていたわ。

— 正直「休みたい」と思ったことはありますか？

休みをつくる事ばかり考えてた(笑)。体力的にもきついし、まだ若かったから遊びたくて。国内以外にも色んな所にゴルフをしに行ったり、東京へレッスンを受けに行ったりウィンドーショッピングも楽しんだわ。ダンス漬けの生活はその頃はいやだったの!?

— 3年経った時、「よし辞めよう」と思わなかったのですか？

思った!強く思ったけど、宝塚や劇団四季を目指す生徒も増えてきて、辞められなかったのね～。それで気付いたら33年も経ってしまったワ～!!



—1つのことを継続できない若者達へ、一言お願いします。

一体自分が、何がやりたいのかを良く考えて。辞めたい時は誰だってあるけど、もう一度考えてみる。辞めるのはいつでも出来るでしょ…。それから、これだけは言えるわね。ダンスを出来る今を本当に大切に。一つの好きなことを出来る人はそれだけでも幸せネ。

どこでも嫌な事や不満はあるから。目移りする人はどこへ行っても続かない。ココと決めたら継続するのが1番!!

『あっちこっちいく人は、ものにならない!!!!』

— 名鶴ダンスカンパニーが目指す先を教えてください。

ダンスを中心に芝居や歌等、芸能部門に行きたい人が、まず手始めにダンスを習って、健康な心・身体になるように導いていきたい。そしてここから世界へ羽ばたいていく人を応援したい。

今後は、私が作ったり携わっていく舞台は、本質を大切にクオリティの高いものを追求していこうと思います。

ありがとうございました。公演の裏話や、継続のお話、とても勉強になりました。今後もクレインニュースでは、名鶴先生に色々なお話をお聞きしていきたいと思っています。普段は知ることが出来ない先生の素顔・本音をお伝えしていきますので、乞うご期待ください!